

平成 29 年 8 月 8 日
第 2 回市遠野市総合計画審議会
遠野市消防本部

「遠野市土砂・浸水ハザードマップ」について

【作製にあたり】

- 平成 28 年台風第 10 号をはじめ各地で発生している土砂災害、水害を踏まえ、市民の避難対策として新たに配布するもの。
- 昨年度 2 度にわたり市内 11 会場で開催した遠野市自主防災組織の代表者等による地区別防災研修会で、延べ 300 人の参加者からの意見を反映させた。
- 大雨や台風時の行政区の指定緊急避難場所について、自主防災組織と意見交換を行い見直した。
- 平成 26 年 4 月に全戸配布した「遠野市防災マップ」学習ページ等は引き続き使用することとして、重複する内容は掲載しないこととした。

【作製部数】

- 市内を遠野町、綾織町、小友町、附馬牛町、松崎町、土淵町、青笹町、上郷町、宮守町宮守、宮守町達曾部、宮守町鱒沢の 11 の地区に分けて合計 11,900 部作製した。
- 紙面は B1 サイズ、片面印刷とした。

【主な掲載内容】

- 土砂災害危険箇所、浸水想定区域、過去の浸水範囲
- 要配慮者利用施設（老人ホーム、学校）
- 避難情報、防災気象情報
- 行政区ごとの指定緊急避難場所、指定避難所
- 佐比内ため池（上郷町版）の浸水範囲

【特 徴】

- 災害対策基本法改正による 3 段階で発令する避難情報、避難が危険な場合の対応等を掲載した。
- 過去の浸水範囲として昭和 23 年のアイオン台風、昭和 56 年台風第 15 号、平成 28 年台風第 10 号の浸水範囲を色分けで表示した。
- 土砂災害危険個所内に立地する指定緊急避難場所にバツ印をつけ、緊急時の避難先としては適さないことを明記した。
- 気象情報を得やすくするため QR コードを掲載、携帯電話から情報が得られるようにした。
- 土砂災害・浸水時に避難すべき場所の順序など、避難行動の流れを行政区ごとに表した。

【使用方法】

- ハザードマップの使い方を 3 ステップで確認する。
- 防災メモ自由記載欄に、家族の緊急連絡先などをあらかじめ記入する。
- 既に配布済の防災マップと一緒に保管するか、自宅の中で家族がよく目にする場所に貼る。

【今後の展開】

- 8 月下旬から市内 11 会場で「遠野市土砂・浸水ハザードマップについて」をテーマに、遠野市自主防災組織連絡会地区別防災研修会を開催する。
- 平成 29 年 9 月 10 日（日）に実施予定の平成 29 年度遠野市防災訓練は、ハザードマップを活用した防災訓練を行う。